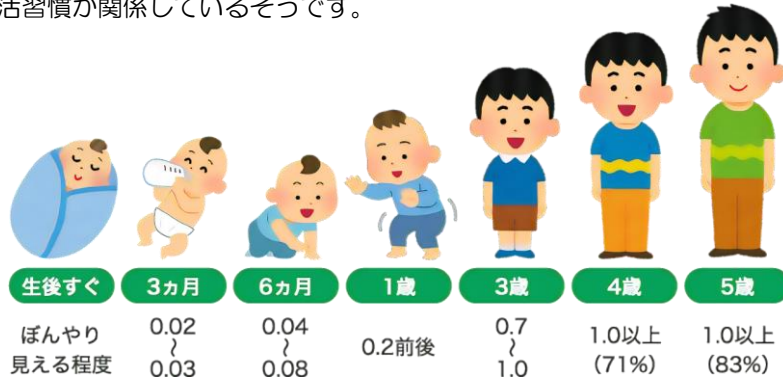




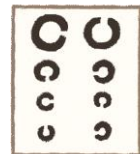
もうすぐ待ちに待った運動会♪気持ち良い秋晴れの下、子ども達はたくさん汗をかきながら練習に励んでいます。着替えや汗拭きタオル、水分は多めに準備し、夜も早めに就寝するようご協力をお願いします！

10月10日は「目の愛護デー」

子どもの目は毎日発達していて、両目の視力機能は6歳頃にほぼ完成すると言われています。その後に視力低下するのは、幼い頃の姿勢や体の動かし方、生活習慣が関係しているそうです。



視力1.0以下の子どもの数が**過去最高を更新!**



テレビやスマホ、ゲーム等、近いところの1点を見続ける時間が長くなっていませんか? 手元の近いところばかり見続けていると、ピントが近くの1点に固定されやすくなり、遠くがぼやけて見えるようになります。部屋を明るくし、一定時間を経過したら、目を休めるよう声掛けをしてあげてください。また、自然の中で十分に遊ばせ、外の景色をたくさん見せることで、お子さまの視力を育てていきましょう。

これからどうなる 子どものマスク

乳幼児は、自ら息苦しさや体調不良を訴えることが難しく、自分でマスクを外すことも困難です。また、正しくマスクを着用することが難しいため、感染の広がりを予防する効果はあまり期待できません。むしろ、乳幼児のマスク着用には次のような危険性が考えられます。

- ★ 小さな子どもは空気の通り道が細いため、息苦しくなりやすく、呼吸器や心臓への負担になる。
- ★ 顔色や口唇色、表情の変化など、体調異常への気づきが遅れる危険性がある。
- ★ 熱がこもり、熱中症のリスクが高まる。
- ★ 嘔吐時には、誤嚥のリスクが高まる。



厚生労働省より・・・ (就学前児のマスク着用について)

- 2歳未満：マスク着用は推奨しない。
- 2歳以上：発達の状況や体調等を踏まえる必要があるため、他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない。

子どもにとってマスクは、身体的・精神的負担がとても大きく、成長発達に影響が出てくる可能性も十分考えられます。低酸素状態により、頭痛・眠気・集中力の低下等が引き起こされたとの研究結果もあります。今後、再び感染状況が悪化することも考えられますが、子どものマスク着用の必要性については慎重に考えていきたいと思っております。

先月の子ども達の様子

コロナウイルス感染症
ヘルパンギーナ
手足口病
溶連菌感染症
の発症がありました